

う蝕治療の新常識、クイックバイトで咬翼法X線写真

KerrTM



伊藤デンタルクリニック 院長
(神奈川県)

伊藤 直人 先生

う蝕治療にパラダイムシフトが起こり、う蝕の治療目的は感染除去からカリエスコントロールへと変遷を遂げました。日常の臨床ではう蝕病変の有無だけでなく、時間軸の中での活動性と停止性の判断が求められるため、規格性のあるう蝕病変の検出が重要となります。

Kerrのクイックバイトは、長年愛用している咬翼法X線写真に欠かすことができないフィルムホルダーです。

50%のう蝕病変は見えていない

う蝕病変の診断に必要な診査の基本は口腔内診査です。咬翼法は臼歯部の隠れたう蝕(Hidden Caries)や隣接面う蝕、咬合面う蝕など、視診だけでは検出が困難な病変のX線による補助的診査として、感度や特異度が最も優れた撮影方法です。

咬翼法を用いない通常の口腔内診査では、隣接面う蝕の50%以下しか検出できないのに対し、咬翼法では90%以上の病変が検出できるという報告もあり

ます。この結果は、う蝕治療における咬翼法X線写真の重要性を如実に示しています。

咬翼法(Bite-Wing、バイトウイング)

咬翼法はX線フィルムの中央に付与された小さな翼を咬むことで撮影するため「咬翼法」と呼ばれます。一般的に臼歯部で用いられ、上下歯牙を一度に撮影することができます。X線の中心線が歯牙の長軸に対して直行し、隣接面を垂直に通り返るため、う蝕病変を明瞭に捉えることが可能となります。また、咬翼法は臼歯部のう蝕病変検出の補助的診査として欠かせない撮影方法ですが、う蝕診断には口腔内診査が前提であること、咬翼法読影の理解とエラーや被曝のリスクが伴うことを念頭に置く必要もあります。

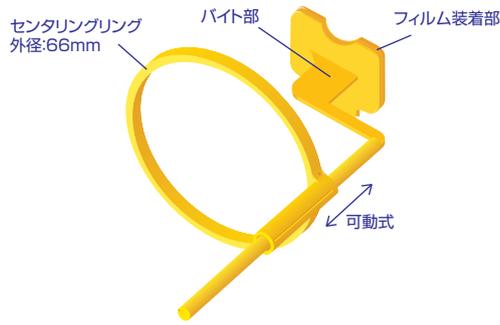
クイックバイト(リングタイプ)/フィルムホルダー

Kerrのクイックバイトは、無駄なく簡単に咬翼法の規格撮影が行えるフィルムホルダーです。センタリングリングに撮影装置のコーンを合わせ、簡単に規格化された角度で撮影が可能です。また、バイト部は薄いデザインで、広い撮影範囲に対応します。フィルム装着部も小さく薄く、口腔内での干渉も少ないです。上下の反転により右左側の撮影が可能で、使用のたびに交換するものはフィルム以外にありません。

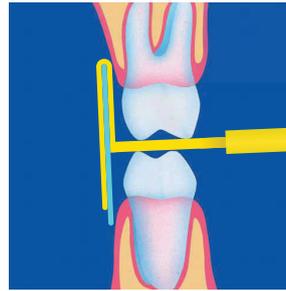
クイックバイト挿入時は、フィルム装着部で舌を掬うように行います。X線の中心線を第二小臼歯と第一大臼歯の間に直行するよう位置づけます。バイト部をゆっくり咬み込むと同時にフィルム装着部を歯牙に寄せますが、痛みがあればやや口蓋側に位置することでバイト部を噛み込むことが可能となります。可動式のセンタリングリングは極力頬に寄せておきます。

う蝕治療は新時代の幕を開けました。カリエスコントロールの成否は私たちのう蝕の見識に掛かっています。それと合わせて大切なことは優れたツールをどう使うかです。う蝕病変の検出にクイックバイトはとても有効です。

クイックバイト (リングタイプ) の構成



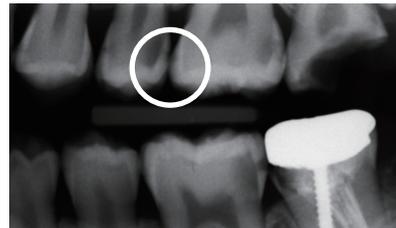
バイトウイングの撮影ポジション



臨床例1

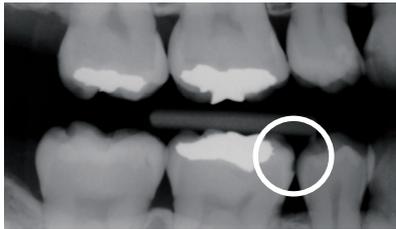


口腔内診査だけでは隣接面う蝕の検出は難しい。



特に上顎第一大臼歯近心に存在するE2 (エナメル質内側1/2)のう蝕病変は咬翼法X線写真なしには検出が困難である。

臨床例2

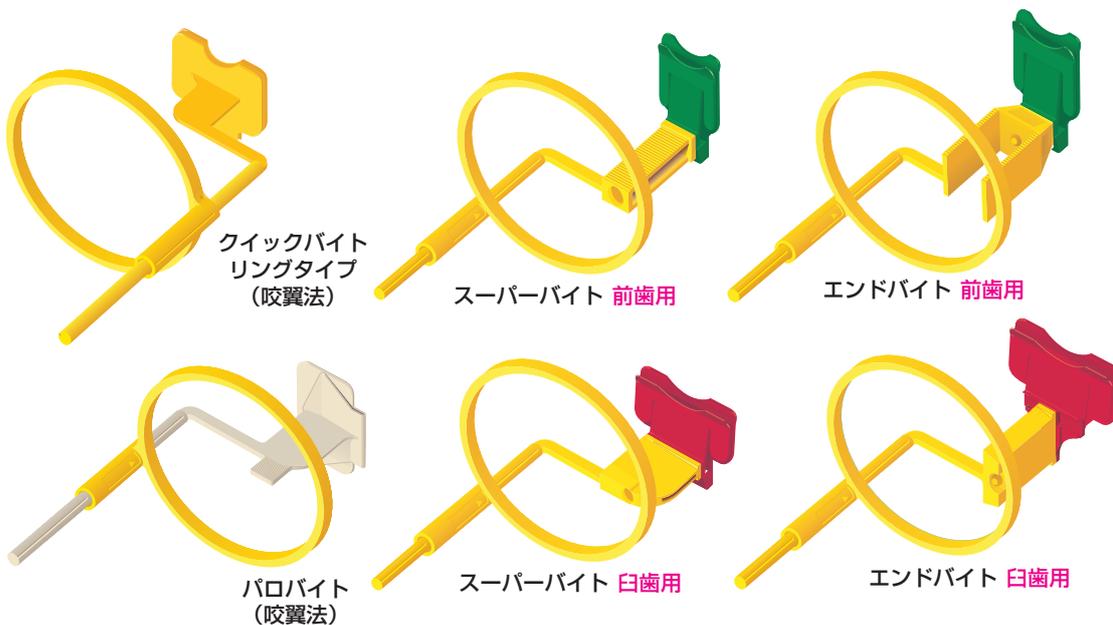


下顎右側第一大臼歯近心に存在するE1 (エナメル質外側1/2)のう蝕病変。



10年後にも停止性であることが確認できる。

フィルムホルダーシリーズ



製品情報はこちら
<https://onl.la/4qrXWwN>

一般医療機器 歯科用 X線ビームアライメント装置
 医療機器製造販売届出番号：13B1X10405100100

ご注文は、お取り引き歯科ディーラー様までお願いいたします。



Webサイト

Envista エンビスタジャパン株式会社
 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー
 TEL:0800-111-8600 FAX:03-6866-7273
www.envistaco.jp

KKSAJB2405V1 KR-0278